

## 広報紙「広報あたみ」仕様書

1. 発行回数 平成 30 年 4 月号～平成 31 年 3 月号 計 12 回  
(毎月 1 回 10 日発行。ただし、その日が土曜日、日曜日又は祝日にあたるときは、その日より前で、その日に最も近い土曜日、日曜日又は祝日でない日とする。)
2. 印刷 オフセット印刷
3. 規格
- (1) 体裁  
A4 判 冊子 (綴り穴は JIS 規格 2 穴、ページ数揃え込み。)
- (2) ページ数及び刷色
- |            | ページ数 | 刷色   | 回数   |
|------------|------|------|------|
| 4 月号～12 月号 | 16 頁 | 4 色刷 | 12 回 |
4. 発行部数 264,000 部 (1 回 : 22,000 部)
5. 用紙 マットコート紙 (古紙含有率 20%以上) A 判 44.5 kg と同程度 (平成 29 年度発行済み  
広報あたみと同程度)
6. 原稿
- (1) 原則として、Microsoft Word、Microsoft Excel、PowerPoint 等で作成したデータ (写真を含む) をメールで送付し、出力見本で入稿する。なお、グラフについては Microsoft Excel、PowerPoint 等で作成した数値データを用いて印刷業者側で作成する。
- (2) 入稿は、原則として発行月の前月の 20 日以降とし、上記 (1) による原稿は、市役所にて手渡しとする。
- (3) 判型 (基準として)
- ア. 組 縦組み、一部横組み
- イ. 段数 縦組み…4 段又は 5 段、横組み…3 段が主体
- ウ. 1 段字詰め 縦組み…16 字又は 13 字×33 行、横組み…15 字×51 行が主体
- エ. 段数及び書体 14 級明朝正体が主体
- オ. 歯送り 字間送り…14 歯、行間送り…21 歯が主体
- (4) 写真等は、ポジ・紙焼き・電子媒体により、印刷業者が加工する。1 回約 50 点程度。(増減あり)
7. 編集・レイアウト 本市の指示により、紙面の編集・レイアウト、カット、レタリング、カラーカンパ等の作成を印刷業者が行う。

8. 校正
- (1) 校正は原則として3校までとし、ゲラへの朱書きで行う（一部USBメモリー等の記憶媒体あり）。
  - (2) 各校とも、カラーカンパ及びPDFデータを本市へ直接提出する。また、初校、2校の校正原稿は市役所で手渡し、3校は、午後2時までにファックスで行う。なお、各校のカラーカンパ提出及び校正原稿手渡し時間は、指定日の下記時間とする。

	カラーカンパ提出	校正原稿手渡し
初校	午前9時30分まで	カラーカンパ提出の翌日午後4時30分以降
2校	午前9時30分まで	カラーカンパ提出の翌日午後4時30分以降
3校	午前9時30分まで	上記(2)のとおり

- (3) 校了については、原則として責了とするが、印刷業者はカンパをファックスにて市役所に提出し確認を求める。
- (4) 各校とも、見出し及び記事の変更・組み替え、写真・イラスト等の変更・差し替え、レイアウトの変更をすることがある。
- (5) 校了は、原則として発行月の5日頃とする。

## 9. 納品

- (1) 納品日と納品場所  
発行日前日の午後4時または発行日の午前8時に、本市が指定する場所に納品する。  
(熱海市中央町1-1 熱海市役所地内)
- (2) 納品方法  
配布箇所名（140箇所）ごとに、提示した部数（1箇所最大1,045部、最少3部）を梱包し、配布順に納品する。ただし、配布箇所数、梱包部数、配布順は、毎月変動する場合がある。
- (3) 梱包方法  
配布箇所名・配布数を包装紙上部に明記し、十文字に紐かけ梱包又は封筒に封入する。なお、1箇所あたりの部数が、200部を超える場合は、分けて梱包すること。
- (4) その他  
ホームページ掲載用にPDFデータ化したものをCD-R等の記憶媒体で納品する。

## 10. 代金

- (1) 価格  
契約価格は紙面の編集・レイアウト・カラーカンパ等の作成経費及び写真植字・版下作成など印刷に関する一切の経費、PDFデータ化に関する経費、納品に関する経費等、一切を含めた価格とする。
- (2) 支払  
「3. 規格(2)」ごと1回分の金額を毎月の請求に基づき支払う。

## 11. 見積書

- (1) 見積書は、「3. 規格(2)」ごとの内訳が分かるように明記すること。

## 12. その他

- (1) 頁数が増減する場合あり。その際は、両方で協議して決定する。